紀の川市親元就農助成金の概要

紀の川市では、持続可能な農業を将来にわたり実現するため、農業者の次世代が就農意欲を喚起し、農業経営を円滑に継承して地域農業の新たな担い手となることを目的として、親（認定農業者等）の後継者となる親元就農者に対して、予算の範囲内で親元就農助成金を交付します。

■対象となる人

次の各号のいずれにも該当する親元就農者

- (1) 市内に住所を有し、かつ、市内で農業経営を行う親（認定農業者等）の後継者となる者
- (2) 親元就農計画申請時点で親元での研修開始から6箇月以上かつ、3年以内農業に従事している年齢が18歳以上50歳未満の者
- (3) 毎年1月1日から12月31日までの農業従事日数が200日以上、かつ、1600時間以上が見込まれる者
- (4) 本助成金の交付申請日の属する年度の前年の合計所得金額が200万円未満の者
- (5) 離職などにより生計のリスクを負って親元就農した者（学業からの新卒者を除く。）
- (6) 国の就農準備資金、経営開始資金等の交付やその他生活費の確保を目的とした国等の事業による給付を受けていない者
- (7) 市税の滞納がない者

用語の意義

※認定農業者等とは、「農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定により紀の川市長等が農業経営改善計画を認定した農業者」、「和歌山県知事が認定する農業士」のいずれかに該当する者をいう。

※親元就農者とは、認定農業者等の2親等内の直系卑属又はその配偶者であって、認定農業者等の後継者となる予定の農業に専従する者（継承後は自身が農業経営主となる者）をいう。

※生計のリスクを負って親元就農した者とは、親元就農を開始する前は就労している状態にあった者をいう。

■助成金の額 1人当たり年額60万円（6ヵ月単位で交付）

■交付期間 最長2年間

■交付までのスケジュール

- ① 親元就農計画の認定申請（受付は7月と1月の年2回）
- ② 親元就農計画の認定
- ③ 親元就農助成金の交付申請
- ④ 親元就農助成金の交付（交付決定後、概ね9月と3月にそれぞれ30万円を交付）

■認定基準

- ・計画が概ね5年後から10年後以内において、自らが経営主体となるような内容であること
- ・計画が現状と比べ、経営改善や規模拡大などに繋がる発展的な内容であること
- ・計画が達成される見込みであること
- ・経営継承後は、速やかに自らが認定農業者（または認定新規就農者）になること

■就農状況報告

- ・交付期間中及び交付期間終了後1年間において、毎年7月と1月にそれぞれ前月までの6箇月分の就農状況（親元就農計画の進捗状況）を報告すること（必要に応じて市が面談や現地確認等を実施します。）

■その他

- ・対象者としての要件を満たさなくなった場合や虚偽の申請等をした場合、就農状況報告書を期日までに提出しなかった場合、適切な農業従事をしていないと市が判断した場合などが生じた際は、当該助成金の交付停止や取消、返還などを命じます。

【問い合わせ先】 紀の川市役所 農業振興課（電話0736-79-3902）